

Column

噂のPC橋！ 江島大橋

米子鬼太郎空港に着陸する際に、機内から巨大なコンクリート橋をみてとることができます。この橋こそ、ダイハツ工業株式会社のCMにでてきた「ベタ踏み坂」を有する江島大橋です。インターネット上でも大きな話題になったあの坂は、CGなどではなく実在するプレストレストコンクリート橋の一部なのです。



CMの舞台となった江島大橋は、鳥取県境港市と島根県松江市の間に位置する1級河川斐伊川（中海）を渡河し、両市を結ぶ全長1.4キロにも達する橋梁です。この橋は、取付高架橋と主橋梁部で構成され、主橋梁部は5径間連続の有ヒンジPCラーメン橋です。主橋梁部の中央支間の長さは250mで、これはPCラーメン橋として、国内はおろか東洋で第1位、世界でも第3位の長さになります。

この地域は、近くに重要港湾である境港があるうえ、両県の工業団地となっており、貨物輸送として重要な役割を果たしておりました。かつて中浦水門管理橋によって結ばれておりましたが、同橋は跳ね橋構造であり、重量制限があったため、交通量の増加にともない、道路交通に支障が生じるよう

になりました。そのため、輸送のコストや時間削減、広域的な交通ネットワークの一翼を担うことを目的として昭和60年より江島大橋の計画がスタートし、平成9年に工事が着手され、16年より供用が開始されております。

さてCMに登場した例の坂は、この橋の松江市側の取付部になります。この勾配は6.1%あり、角度にすると約3.5度になります。数字で見てもあまり実感がわきませんが、いざ橋の取付け部に立つと確かにとてつもない急坂のように見え、ついついアクセルをベタ踏みしないと上っていかなそうな気にさせます。このような勾配になった背景には斐伊川に計画されている5000トン級船舶の航行が可能な桁下空間が必要であったためです。それゆえに橋梁の最高地点は高さ44.7mにも達します。

施工方法は張出し架設工法を採用しましたが、工期を短縮するために通常の施工方法に比べて4倍も能力の大きい移動作業車を用いました。また柱頭部高さが15.5mもあるためコンクリートを5回に分割して打設したとのことですから、まさに圧巻のスケールです。

この大きな姿で、冬場は風雪厳しい日本海側の環境に耐え、地元の発展に寄与し、さらに地域住民に愛されていることを思うと、PCの無限の力を感じることができます。

三井住友建設(株) 片 健一



提供：ダイハツ工業株式会社

